

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健康-32 保健衛生運営事業 □支援部門						
主管課	市民健康課		関連課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の関係団体との協議により市民の健康衛生に対する意識の啓発を促して疾病の予防を図る。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	78,921	62,496	59,099			
	(国・県)	1,213	881	530			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	77,708	61,615	58,569			
	人員配置数	0.6	0.6	0.6			
	人件費(千円)	4,802	5,168	5,277			
	協 働 の パートナー	献血協力団体 鎌倉市医師会	献血協力団体 鎌倉市医師会	献血協力団体 鎌倉市医師会			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	83,723	67,664	64,376			
	市民1人当 りの経費(円)	472	382	363			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
鎌倉市内での分娩割合を高め る。	△	目標値	50%	50%	55%	55%	—
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △進捗低い ×後退		実績値	40.0%	47.0%	51.4%	50.0%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
保健衛生運営事業	78,615千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付する。 ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援する。			
献血事業	126千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	・日本赤十字血液センターが実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布する。 ・ホームページ等での広報、市内の団体との連携を通じて献血への参加を呼びかける。			
地域自殺対策事業	180千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	・「いのちの大切さ」「自殺の正しい知識」等の普及啓発のための講演会を開催。 ・お互いに、つながり見守ることの大切さを伝えるゲートキーパー養成研修を開催。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	(産科診療所運営)産科分娩数を増やすため産科診療所の増床が必要である。 (献血)献血者数の維持・拡大が必要である。 (地域自殺対策)住民に対する普及啓発はまだ不十分		
課題解決のための取組	(産科診療所運営)産科診療所運営協議会を開催し、安定的な運営について協議した。 (献血)ホームページ、広報かまくら等により、献血機会の都度、広報した。 (地域自殺対策)いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会で、普及啓発の講演会を開催した。また、職員課健康 管理講座と共催でのゲートキーパー養成研修を実施した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	(産科診療所運営)分娩施設が近隣市、市内に新規開設され、また開設される予定であるため、出産状況を注視しながら、増床の是非を再検討する必要がある。 (地域自殺対策)住民への更なる啓発、庁内での職員への研修実施が必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	↓	②妥当性 ○		地域の関係団体との協議により、市民の健康衛生に対する意識の啓発を促す。また、市内で安心して出産できるよう、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援する。	課長等名
		③有効性 ○			市民健康課長
		④公平性 ○			大澤 一則

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
保健衛生運営事業	主な個別事業	89 救急医療・健診等保険料	907	906	○	○	○	○
		89 地域医療センター維持管理費負担金	2,779	2,829	○	○	○	○
		89 神奈川県ドクターヘリ運営事業運営費負担金	522	507	○	○	○	○
		89 医師会運営費補助金	3,366	3,366	○	○	○	○
		89 歯科医師会運営費補助金	1,824	1,824	○	○	○	○
		89 衛生協議会運営費補助金	2,985	2,985	○	○	○	○
		89 薬剤師会運営費補助金	104	104	○	○	○	○
		89 助産師会等運営費補助金	204	204	○	○	○	○
		89 産科医師分娩手当補助金	1,200	1,033	○	○	○	○
		782 産科診療所運営協議会委員報償	186	104	○	○	○	○
		782 はじめまして赤ちゃん事業委託料	240	240	○	○	○	○
		782 産科診療所運営費補助金	45,017	64,304	○	○	○	○
献血事業	主な個別事業	92 献血協力者謝礼	150	126	○	○	○	○
地域自殺対策事業	主な個別事業	1431 講演会等講師謝礼	150	150	○	○	○	○
		1431 啓発用消耗品費	30	30	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							